

雲の上のまち



大報

ゆすばら



ゆすっ子みやっ子INにしのみや2018
(詳細はP3に記載)

平成30年度 栲原消防団・栲原町女性消防隊連合演習 <P2>

ゆすっ子みやっ子INにしのみや2018 <P3>

新連載 雲の上の図書館だより <P6>

9月10日～16日は自殺予防週間 <P7>

イベントが盛りだくさん! 9月の行事予定 <P13>

etc...

8 月号
2018
<平成30年>
No.722

●世帯数/1,807 (6月末)
1,810 (7月末)
●人口/3,576 (6月末)
3,576 (7月末)
○出生… 1 ○死亡… 5
○転入等… 9 ○転出等… 5

平成30年度

梶原消防団・梶原町女性消防隊連合演習

7月1日(日)、台風7号襲来で悪天候の中、土釜町議会議長をはじめ町議会議員、大野高知県危機管理本部消防政策課消防指導監、北村須崎警察署長、竹内高幡消防組合消防長、町内各区長、消防幹部OB他関係者の方々など、多数のご出席をいただきました。開会式では、梶原学園音楽部16名の吹奏に合わせ、梶原消防団・女性消防隊235名、梶原学園少年消防クラブ操法要員7名、また恒例となった愛媛県久万高原町消防団27名、総勢269名が集結し、梶原消防団・女性消防隊連合演習が盛大に行われました。



少年消防クラブ

女性消防隊の非常炊出し訓練開始を合図に、午前中は教練、少年消防クラブ軽可搬ポンプ操法、小型ポンプ操法、自動車ポンプ操法が行われま



小型ポンプ操法

の、80年以上の長きに渡り継承し続けられて

午後、会場を中川原に移し、久万高原町消防団も参加し、カンを落とし競技・カン送り競技が行われました。また、女性消防隊カン送り競技には、昨年度より、高幡4市町(梶原・須崎・中土佐・津野)の女性団員・隊員が参加し、白熱した競技が行われました。

【優勝】

- 教練 第1分団
小型ポンプ操法 第3分団
カン落とし競技 第3分団
カン送り競技 第5分団
総合優勝 第3分団
女性消防隊カン送り競技 梶原女性消防隊

【優秀】

自動車ポンプ操法 第1分団

次の方々が表彰されました。

【表彰伝達】

高知県知事

消防団員配偶者功労感謝状

神明 峰代 様

(第2分団 神明文男 夫人)

東 由味子 様

(第3分団 東 靖芳 夫人)

森野 晃代 様

(第5分団 森野健作 夫人)

【表彰披露】(敬称省略)

消防庁長官表彰

永年勤続功労章

第1分団分団長 中越 義明

日本消防協会会長表彰

勤続章

第1分団 団員 下元 望

第5分団 団員 久保 栄八

高知県知事表彰

竿頭綬

高幡消防組合 梶原消防団

高知県知事表彰

永年勤続功労章

本部 団員 高橋 忠見

第3分団 団員 松田 準一

第3分団 団員 西村 努

第3分団 団員 森山 正行

日本防火・防災協会表彰

防火防災活動功績章

梶原町女性消防隊

梶原学園少年消防クラブ

高知県消防協会会長表彰

勤続章

第5分団 部長 中越 和樹

第4分団 班長 久岡 幸男

第1分団 団員 中越 靖

第1分団 団員 谷田 真吾

第2分団 団員 上田 和博

第2分団 団員 中岡 一大

第3分団 団員 氏原 和幸

第3分団 団員 上田 和良

功績章

第1分団 班長 中越 浩一

第4分団 班長 玉川 輝満

第1分団 団員 中越 貞幸

第1分団 団員 川村 幸司

第1分団 団員 中越 寿和

第1分団 団員 那須 孝幸

第2分団 団員 森山陽二 郎

第3分団 団員 西添 和彦

第5分団 団員 森田 俊也

梶原町長

消防団員配偶者功労感謝状

神明 峰代 様

(第2分団 神明文男 夫人)

東 由味子 様

(第3分団 東 靖芳 夫人)

森野 晃代 様

(第5分団 森野健作 夫人)

今年もまた、たくさんの思い出をつくってきました

ゆすつ子みやつ子INにしのみや2018

(西宮・栲原児童交流事業)





カレー作り!

7月24日(火)
 ゆすつ子17人は、朝7時30分に集合し結団式を行いました。
 児童たちは、親元を長期間離れることに不安を感じながらも、大きな期待に胸を膨らませている様子でした。
 行きは松山空港から伊丹空港まで飛行機に乗りました。飛行機に乗るのは初めての子どもも多く、緊張している児童もいれば「ジェットコースターみたい」と楽しんでいる児童もいました。
 西宮市へ到着し、甲山で歓迎式が行われたあと、夕食のカレー作りをしました。初対面でなかなか話がありませんでしたが、活動しているうちに会話が増え、食べ終わるころにはみんな仲良くなりました。



自分たちで作ったカートンドッグ

7月25日(水)
 朝7時に起床し、朝食のカートンドッグを作りました。子どもたちは、好きな具材を入れて自分なりのカートンドッグを作っていました。
 その後は、森の王様ゲームや水鉄砲遊びなどのゲームをし、暑さを忘れるくらい遊んで楽しんでいました。
 夕食後は、花火や肝試しをして夏ならではの体験をしていました。
 ていきました。
 夜は、キャンプファイヤーをしました。リーダーたちによる火の神や水の神が盛り上げてくれて、楽しいキャンプファイヤーになりました。



ハリネズミに触れてみたよ!

7月26日(木)
 今日で、みやつ子のみんなとはお別れの日。
 朝食にチーズリゾットを作り、自分たちが使った部屋の掃除をしました。来たときよりもきれいに掃除ができていました。
 その後は、班で寄せ書きを作り、この3日間の思いや感じたことをたくさん書いていました。
 その後は、記念写真を撮り展望台に上りました。上から見た景色はともきれいでした。
 最後に、ゆすつ子とみやつ子でお土産交換をし、ゆすつ子はバスに乗りました。最後まで、みやつ子が手を振って見送ってくれました。ホテルに着いた子どもたちは疲れていたのか、その晩はぐっすり眠っていました。
7月27日(金)
 今日、大阪の万博記念公園にあるエキスポシティへ行きました。午前は、オービィ大阪で極寒体

験や、ハリネズミやひよこなどの小動物に触れたり、CGで飛び出たきそうなマウンテンゴリラの映像をみたり、栲原では経験できない体験ができ、とても楽しんでいるようでした。
 午後は、水族館ニフレルに行きました。珍しい魚やホワイトタイガーなどを間近で見たり、目を輝かせたりしていました。
 ホテルへ戻ってからは、それぞれが購入したお土産などを見せ合ったりして、思い出に浸っていました。
7月28日(土)
 早くもゆすつ子みやつ子の最終日です。
 淡路サービスエリアで、観覧車に乗ったりお土産を買ったり、優雅に時間を過ごしていました。
 昼食の後は、栲原に帰るだけです。長旅の疲れがあったのか、バスの中で寝ている児童もたくさんいました。
 栲原町に着き、解団式を行いました。子どもたちは、出迎えてくれた家族にゆすつ子みやつ子の思い出を楽しそうに話しながら家に帰っていききました。
 今回の交流事業では、みやつ子との交流を通して都会の良さや栲原の良さ、友だちの大切さを知ることができたと思います。
 また、西宮市重松教育長をはじめ、川本輝子委員長、西宮市職員の方々、子どもたちをいつも見守っていたり、リーダーの皆さん、大変お世話になりました。
 今後も両市町の交流の輪がますます広がることを願っております。

梶原学園だより VOL.74

児童生徒も出演 京劇を楽しんだ！

7月5日(木)は、梶原学園にて、新潮劇院(東京)の京劇の公演がありました。当日は雨が降りしき中、保護者、地域の方、こども園のぞう組の園児も鑑賞に来られ梶原学園体育館がにぎわいました。京劇を生で見るのは、初めての方がほとんどだったと思います。さらびやかな衣装、民族楽器が奏でる独特な音色、練習を積み重ねた役者さんの技等、見所満載



新潮劇院による京劇の演技



公演終了後に出演者全員で記念撮影

でした。

新潮劇院は、日本を代表する京劇を演じる劇団の一つです。劇団員の中には、中国人の方も多数おられ、中国の伝統的な文化である京劇を演じるレベルの高さが伺えました。そして、なんとと言っても子どもたちの出演。顔に化粧を施し、少ない練習時間の中で役者さん交じり見事な演技を演じました。公演後、座長の張春祥さんから、「梶原の子どもたちは、すぐに演技をよく覚えて賢いです。」とほめていただきました。観ていた

児童生徒の中にも、「今度は自分も出てみたい」と思った人も多数いたに違いありません。楽しい充実した余韻を残した京劇は終わりました。生の演技・プロの演技は、聴く者、観る者の心を大きく揺さぶります。この公演が子どもたちの心に残り、今後の生活の中で生かされることを願います。

命を守る 急救救命法！

7月13日

(金)は、急救救命法(心肺蘇生とAEDの使用)を実施しました。この日は津野山分署から9名の消防士の方が来てくださり、子どもたちに丁寧に教えていただきました。小学生全員が対象で、1年生〜3年生は、模擬人形を使って学びました。4年生〜6年生は、AEDと人体模型を使ってより実践的な急救救命法について学びました。子どもたちは、一生懸命に学びました。人の命を守ることについては、自分の命を守ることにつながります。今後の生活においてこの急救救命法が必要な事故が無いことを願いますが、いつ自分が人の命を救う場面に出会うかもしれない。その時に、知っているのと知らないのでは、大きな違いがあります。その時のための学習になりました。津野山分署の消防士の方々、ありがとうございました。



消防士による模範講習

一部の記事はホームページでも見ることができます。
(<http://www.yusuharagakuen.jp/>)

梶原学園起震車体験



7月12日(木)8時45分から、梶原学園において起震車体験を行いました。体験を行ったのは、梶原学園の1年生から4年生までの児童で、高知県トラック協会の所有する起震車に乗って体験を行いました。

体験の前には高知県トラック協会の方から、実際に地震が起こった時の身を守る姿勢のとり方や、自宅にいるときに地震が起きた時の行動について教えてもらいました。

南海トラフ地震は30年以内に70%から80%の確率で起こるといわれており、現在の子どもたちは高い確率で南海トラフ地震を経験することになります。



起震車体験

南海トラフ地震に備えて、家族の集合場所や身を守るために、どうすればいいか、今一度話し合ってください。作っていただければと思いません。

総務課危機管理係



栲原こども園だより



カレーパーティー

7月5日(木)にいきいき農園の方を招いてカレーパーティーを開きました。3月にジャガイモを植えておよそ100日目に収穫しましたが、とても大きく成長していました。農園の方と一緒に大きなジャガイモを収穫した喜びや、お世話をしてもらった感謝の気持ちをぞう組が発表してくれました。そのジャガイモを使い幼児組で協力して作ったカレーを、農園の方々とおしゃべりしながら楽しく食べることができました。



おかえりなさい1年生

7月9日(月)に1年生がこども園に来てぞう組と交流しました。1年生が大きな声で歌ったり、自己紹介する姿を見て「1年生ってすごいね」と憧れの気持ちを持つぞう組の姿が見られました。ゲームでは、ジャンケン列車をして遊び、踊りも一緒に楽しみました。その後、ぞう組が作ったお茶と一緒に飲み、おしゃべりをして楽しい交流となりました。



プール遊びを しているよ

7月9日(月)から全クラスがプール遊びを始めました。暑い毎日ですが、子どもたちはプールで遊んで水の心地よさを楽しんでいきます。幼児組は、潜ったり体をまっすぐにして浮いてみたり、ワニ泳ぎやカニ歩きをして遊んでいます。乳児組は、ビニールプールに体を浸けたりしながら、水をパシャパシャ散らして、水の感触を楽しんでいます。年齢に合わせてプールの水量を変えて、安全に楽しく遊べるようにしています。



親育ち支援研修会

7月20日(金)に保護者と職員が一緒になって研修会に参加しました。県幼保支援課の講師の先生にお越しいただき、『叱ることと褒めること』というテーマでお話をいただきました。

叱る時は命に関わるこの時、そして子どもの安全を確保して伝えることが大切だそうです。大人は、子どもの気になるところばかりが目についてしまうけれど、24時間同じ姿ばかりではない、昨日と違うところを褒めてあげよう!ということなどを学び合いました。



一部の記事はホームページでも見ることができます。
(<http://www.yusuharakodomo.jp/>)

雲の上の図書館は、音楽の生演奏も楽しんでいただけます。
7月のゆすはらミュージックライブラリーは、7月1日(日)に行いました。今回は、フランスへ音楽留学される若手ホープのヴァイオリニスト野々村嘉伶さんを中心としたアンサンブル・ソノリテの皆さんにきていただきました。



ゆすはらミュージックライブラリーのようす

野々村さんは、音がより気持ちよく聞こえる場所を探しつつ、ゆすはらステージから2階へと歩きながらソロ演奏をされました。

晴れた日の昼下がりのひととき、多くの方に素敵な音楽を楽しんでいただけました。

7月の季節行事として、図書館では笹を飾り、特集本棚に銀河や宇宙の星に関する本と短冊を用意しました。皆さんに書いてもらった願い事の短冊は8月まで飾っています。

また、7月から図書館の多目的ルームで映画上映会を始めました。上映タイトルは、『猿の惑星 創世記』と『美術館を手玉に取った男』でした。

今後も皆様を楽しめる作品をラインナップしていきますので、お誘いあわせのうえお越しください。

図書館でチェロやヴァイオリンの生の音楽を楽しむひととき



行事予定

雲の上の図書館だより

Vol. 1



今月の本の紹介

宇宙や銀河関係の本からおすすめの本を紹介します。

「人はなぜ星を見上げるのか」

高橋真理子

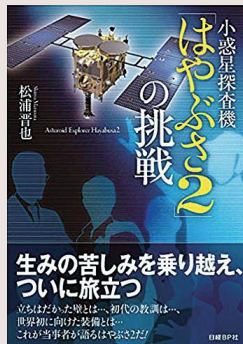
プラネタリウムと音楽の公演など、斬新な試みをしている著者の魅力があふれています。



「小惑星探査機『はやぶさ2』の挑戦」

松浦晋也

小惑星探査機はやぶさ2号は今年夏には小惑星に到着予定、地球帰還は2年後の予定です。さて、はやぶさはミッションを無事クリアできるのでしょうか。



「星のこよみ ~宙の歳時記」

林完次

季節の星座や二十四節気、風の名前など、星にちなんだこよみを写真とともに解説しています。



大切な命を守りたい……

9月10日～16日は自殺予防週間



！自殺予防週間とは

日本では9月10日の世界自殺予防デーにあわせて、平成19年より、9月10日から9月16日までの1週間を自殺予防週間として、自殺予防の活動を行っています。自殺の原因や予防についての正しい知識を持ち、関わっていくことが重要になっていきます。

！現状

日本では、平成10年から平成23年まで13年間連続で、自殺者数が年間3万人を超えた状態が続きました。平成24年からは年間自殺者数が3万人を下回ったものの、警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の速報値としては平成29年度は2万1千321人であり、依然として深刻な状態が続いています。

高知県においても年間自殺者数は平成25年度に200人を下回ったものの毎年100人を超える方が自ら命を絶たれています。

そのため、国の「自殺総合対策大綱」に基づき、高知県も平成21年から「自殺対策行動計画」を策定し、自殺対策を総合的に推進しています。

！自殺の原因

自殺は社会問題や人間関係、健康問題、暮らしや仕事の悩みなど、複数の要因が複雑に関連して引き起こされます。自殺を図ろうとする人は悩みや心配事を一人で抱えて、誰にも相談できず、心理的に追い込まれた結果、「死ぬしかない」と思い込むケースが多いのです。

！自殺のサイン

自殺を考えている人は、「死にたい」「気持ち」と「本当は死にたくない」気持ちの間で激しく揺れ動いています。いつもと様子が違う、元気が無いなど気になる人がいるときは、まず声をかけてみましょう。

！自殺のサイン

- ① 原因不明の身体の不調が長引く
- ② 気分が沈む、自分を責める、決断できない、不眠が続く
- ③ お酒の量が増える
- ④ 興味を持っていたものへの関心を失う
- ⑤ 食欲がない
- ⑥ 自殺をほのめかす
- ⑦ 自殺未遂の経験がある

！私たちができること

① 気づき・声かけ

普段の会話や関係の中で身近な

人の変化に気づくことが大切です。いつもと違うなと思ったら、「どうしたの？ なにかあった？」と声をかけてみてください。「あなたのことを心配している」ということを伝えることが大切です。

② 話を聴く

相手の気持ちを尊重し、話に耳を傾けましょう。本人を責めたり、否定したり、安易に励ますとさらに相手を追い詰めてしまうことがあります。助言は必要なく、うなずくだけでもいいので「決して一人ではない」ことを伝えることが大切です。

③ つながる

悩んでいる本人も相談を受けた側も一人で問題に立ち向かうのではなく、周囲の人に悩みを打ち明けたら、相談機関や専門機関に相談するなど、様々なところとつながることで大きな問題にも対処することが出来ます。本人の置かれている状況や立場を理解してくれる人が少しでも多くいることが大切です。

身近な誰かが悩んでいることに気づき、その気持ちに寄り添えることが大切です。この機会にあなただの身近な人の小さな変化にも気を配ってみてください。そうした支えあえる関係が自殺のない、笑顔で暮らせる社会づくりにつながります。

相談窓口	相談内容	電話番号	時間
高知県精神保健福祉センター	心の健康相談	088-821-4966	電話相談、面接相談 (予約制)
	心のテレ相談	088-823-0600	月曜～金曜 13:00～15:00
高知いのちの電話	自殺予防のための電話相談	088-824-6300	9:00～21:00
高知県立消費生活センター	消費生活相談全般	088-824-0999	日曜～金曜 9:00～16:45
働く人の悩みホットライン	働く上での様々な悩みの電話相談	03-5772-2183	月曜～土曜 15:00～20:00
梶原町保健福祉支援センター	相談先の紹介	65-1170	月曜～金曜 8:30～17:15

保健福祉支援センター

第68回

『社会を明るくする運動』

犯罪や非行を防止し、罪を犯した人の立ち直りを地域で支える「社会を明るくする運動」強調月間日の7月2日(月)に啓発活動の一環として町内一斉パレードを実施しました。

出発前には、内閣総理大臣からの運動推進メッセージを吉田町長へ伝達した後、梶原駐在所のご協力のもと町内全域において啓発活動を行いました。

また、パレード後に梶原学園を訪問し、次代を担う小中学生の皆さんに、この運動に対する理解を深めてもらうことを目的に「社会を明るくする運動」作文コンテストへの参加をお願いしました。

梶原町保護司会



被害者にも加害者にもならないために



私たちは、インターネットを利用することで、日常生活のあらゆる場面で大きな恩恵を受けています。外出しなくても必要なものを買うことができます。遠く離れた人と即座に情報交換を行うこともできるようになりました。しかし一方では、インターネットを悪用した人権侵害が多々起こっています。

インターネットは使い方によって被害者となったり、反対に加害者となったりすることがあります。次の項目に心がけてインターネットを利用しましょう。

- 自分のことを大切にネット上で知り合った人と安易に会わない
- 自分の写真や個人情報を安易に書きこまない
- 書き込みが不特定多数の人に見られている可能性があることを意識する
- 相手のことも大切にする
- 悪口や差別的な内容、うわさ話は書き込まない
- 人の写真や個人情報を勝手に載せない

梶原町人権擁護委員

成人式はふるさと梶原町で



平成30年度の成人式を、平成31年1月3日(木)に行います。成人になられる皆さんのご活躍を期待し、心からお祝いを申し上げます。梶原町内の小中学校を卒業された方で該当される方へ、後日案内状を送付いたします。

また、町内小中学校の卒業者でない方も、本町出身で、町外に在住している方や、梶原高校に在籍されていた方も参加できます。一人でも多くの方がふるさとで成人式を迎えられますよう取り組んでおりますので、出席を希望される新成人の方は、生涯学習課までお知らせください。

なお、該当される方は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方です。

【問合せ先】

梶原町教育委員会

生涯学習課 生涯学習係

☎ 65-11350



本年1月の成人式の様子

皆さんの参加をお待ちしています



は

じまして、安藤崇敬と申しま

す。5月から梶原町教育顧問及び一貫教育支援センター所長に就任させていただきました。私の取り組みのスローガンは、「教育は、一歩踏み出すために！」です。もし私を町で見かけましたら「ダッパン（一歩踏み出す）先生、あんどうさん！」と気軽に声をかけください。さて今回の私の寄稿は3回にわたってさせていただきます。お付き合いのほどよろしく願います。

まず私の社会人の歩みをお伝えさせていただきます。2002年に社会人のスタートを「日本を元気にするために世の中を変えたい」という夢の実現のため、株式会社日本総合研究所に入所しました。その後、2006年、家族を持つタイミングで、様々な「社会の不」の解消に取り組むリクルートに転職を決めました。ここでは人材採用・人材育成の仕事に携わりその後、ネットに関する新規事業の立ち上げに携わりました。その新規事業の一つである「最高の学びを世界の果てまで」をビジョンに掲げるスタディサプリーの立ち上げに参画しました。私は主に離島や中山間地域に学校が多い四国を担当することを志願し、3年間で30以上の自治体、300以上の学

第一回

梶原町教育顧問兼一貫教育支援センター所長の安藤です。

校を訪問し「教育を起点にし、地域を元気にする取り組みをしましょう！」と話をしてみたいです。その中で2015年に運命的な出会い。それが梶原町です。多くの自治体、学校訪問の中で私が理想とする取り組みが梶原町にありました。その後、2016年に国が3省庁（文科省、総務省、経産省）連携で教育改革を取り組む組織の立ち上げを発表し、私は総務大臣補佐官のお誘いでその立ち上げに関わることになりました。国の中枢で志を持って取り組む人と仕事をすることで国の教育改革の方向性は未来の日本を見据えた取り組みであり、その取り組みの先には都市部だけでなく、地域を元気にできる未来の教育のあり方があると確信を持ってました。そして今再び梶原町と縁ができて、国の未来に向けた取り組みを踏まえ、2040年の未来の梶原町を意識した教育体制の整備「18歳までの安心・共創教育」を実現するために就任させていただきました。

組みについて少しクイズを交えてご紹介させていただきます。



平成 30 年度 自衛官等募集案内

募集種目	資格	受付期間	試験期日	合格発表
一般曹候補生	一般的 自衛官 18歳以上 27歳未満	7月1日 ～9月7日	1次： 9月22日 2次：10月13・14日(内1日)	1次：10月5日 最終：11月9日
自衛官候補生 (男子)		年間を通じて 行っております。	9月22日(学科, 適性) 口述, 身体検査日は別示	試験時に お知らせします。
自衛官候補生 (女子)			9月16日	
防衛大学校学生	一般	9月5日 ～9月28日	1次：11月10・11日 2次：12月11～15日(内1日)	1次：11月28日 最終：31年1月25日
	推薦 総合	9月5日 ～9月7日	9月22・23日 1次： 9月22日 2次：11月3・4日	10月26日 1次：10月19日 最終：11月28日
防衛医科大学校 医学科学生	高卒 (見込含) 21歳未満	9月5日 ～9月28日	1次：10月27・28日 2次：12月12～14日(内1日)	1次：11月29日 最終：31年2月14日
防衛医科大学校 看護学科学生 (自衛官コース)			1次：10月20日 2次：12月1・2日(内1日)	1次：11月16日 最終：31年2月8日
航空学生 ※海空自衛隊の パイロットを養成	海：高卒 (見込含) 23歳未満 空：高卒 (見込含) 21歳未満	7月1日 ～9月7日	1次： 9月17日 2次：10月15～21日(内1日) 3次：11月17日～ 12月20日の間で指定する期間	1次：10月5日 2次：(海)11月13日 (空)11月5日 最終：31年1月22日

※ お問い合わせは市町村窓口、または下記へお気軽にどうぞ。パンフレット等もございます。

〒785-0041 自衛隊須崎地域事務所 須崎市西崎町 325-2 TEL(0889) 42-7186

「法定相続情報証明制度」が新しくなりました
 ～相続税の申告に利用できます～

平成30年4月から「法定相続情報証明制度」の利用範囲が広がり、新たに相続税の申告の手続きにこの制度を利用できることとなりました。

この制度を利用することで、各種相続手続き（銀行の預金払い戻し、不動産の相続登記など）で戸籍謄本の束を提出する必要がなくなり、手続きの負担を軽くすることができま

【問合せ先】

高知地方法務局須崎支局
 ☎0889-42-0374
 高知地方法務局ホームページ
<http://houmukyoku.moj.go.jp/kochi/>



パートタイム労働法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法についてのご相談をお受けしています！



「パートタイマー」として働いているが、正社員に応募しようとしたら断られた」「会社に妊娠を報告したところ、退職するように言われた」などの相談を受け付けています。相談は無料、匿名でも受け付けていますので、遠慮なくご相談ください。

【問合せ先】

高知労働局雇用環境・均等室
 ☎088-885-6041

全国一斉 「子どもの人権110番」 強化週間



高知地方法務局と高知県人権擁護委員連合会では、学校における「いじめ」や家庭内における児童虐待など、子どもの人権問題解消に向け、下記のとおり「子どもの人権110番」電話相談の強化週間を実施します。期間中は相談時間を延長するとともに、土・日も電話相談をお受けします。また、児童・生徒の皆さんが安心して相談できるよう、フリーダイヤルになっていますので、学校や家庭、友達関係の悩みごとなど、何でも御相談ください。

- 1 実施期間 平成30年8月29日（水）から9月4日（火）までの7日間
- 2 受付時間 午前8時30分から午後7時まで
 （ただし、土曜日・日曜日は午前10時から午後5時まで）
- 3 開設場所 高知地方法務局人権擁護課（土・日は高松法務局人権擁護部）
- 4 電話番号 **0120 (007) 110**（フリーダイヤル）
 ※IP電話からは接続できません。
- 5 取扱内容 いじめ、体罰、児童虐待等の子どもをめぐる人権問題
- 6 その他 相談は無料、秘密は厳守します。

※以上の記事に関するお問い合わせは、高知地方法務局人権擁護課（Tel 088-822-3503）まで

無料法律相談のお知らせ

高知県司法書士会では、県内各地で無料法律相談会（予約制）を開催しています。

相続や遺言のこと、仕事のこと、借金の問題、訪問販売や家賃の滞納といった日常生活のトラブルに関することなど、様々なご相談に司法書士がお答えします。ぜひご利用ください。

●高知会場

高知県司法書士会館

毎週土曜日13時～17時

毎週水曜日18時30分～20時

（多重債務・成年後見相談）

●安芸会場

安芸市総合社会福祉センター

第1・第3土曜日10時～12時

●須崎会場

須崎市立市民文化会館

第1・第3土曜日13時～17時

●四万十会場

四万十市社会福祉センター

毎週土曜日13時～17時

※高知・四万十会場の土曜日15時以降及び高知会場の多重債務相談は法テラス法律扶助相談（資力要件あり）です。

【問合せ先】高知県司法書士会

総合相談センター

☎0888-82513143

平成30年度

無料調停相談会の開催について

調停は裁判所で行われ、民事や家事の紛争で困った時に、手軽に早く、安く活用できる制度で、話し合いによる解決を基本とし、公開ではなくプライバシーも守られ、しかも調停が成立すれば裁判による判決と同一の効果のある制度です。この、調停制度や他の紛争解決方法についての無料相談会が高知市内で開催されます。予約は不要です。利用される方は、当日直接無料相談会場へお越しください。

●日 時

①平成30年9月7日（金）

午前9時30分～午後3時30分

（受付は午後3時まで）

②平成30年9月26日（水）

午後1時～午後4時

●会 場 （受付は午後3時30分まで）
高知県民文化ホール

1階 第11多目的室

①、②共相談担当者

●主 催 民事・家事調停委員
高知調停協会連合会

●問 合 せ 先 高知地区調停協会
毎週月・水・金

午前9時～午後4時

高知調停協会連合会事務局

（高知家庭裁判所内）

電話・FAX0888-87217884

高知で働きたい若者を応援します
若者（40歳未満）のための就職支援相談センター

「ジョブカフェこうち」へ！

◆ジョブカフェでの主なサポート

- ▼「仕事力パワーアップ事業」の支援メニュー
よくわかる就職セミナー・業界研究・企業見学・少人数セミナー
職場体験講習／短期間の就労体験で早期就職を応援
就職まで全力で支援していきます。
- ▼就職相談／キャリアコンサルタント（仕事に関する専門的な相談員）が就職のための相談、対応をします。
- ▼履歴書・職務経歴書の書き方指導
- ▼面接対策／事前にやっておくと役立つ模擬面接です。
- ▼職業適性診断／所要時間15分程度の適性診断です。
- ▼職業訓練情報の提供／職業訓練に関する情報を入手できます。
- ▼就職支援セミナー・職場定着セミナーの実施
専門講師によるセミナーを行います。

※サポートメニューは全て無料です。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

◆開所時間

午前10時～午後7時（年中無休、但し、年末年始は除く）

◆「高知県委託事業」高知県就職支援相談センター事業

お問合せは、高知県就職支援相談センタージョブカフェこうち
☎088(802)2025 FAX088(822)7005
E-mail info@jobcafe-kochi.jp URL http://jobcafe-kochi.jp/



須崎税務署からのお知らせ 税務署における所得税等の 面接相談について

税務署での、申告所得税・個人事業者の消費税・相続税・贈与税の面接相談は、平成30年7月以降、事前予約制により対応させていただいておりますのでご理解とご協力をお願いします。

なお、予約については、税務署にお電話いただくか、税務署の窓口で「相談の予約をしたい」旨をお伝えください。

※予約の際には、お名前・ご住所・ご相談内容等をお伺いいたします。

※予約状況により、ご希望の相談日時に添えない場合がありますのでご了承ください。

※所得税等の確定申告期間（2月16日～3月31日）は、予約は必要ありません。



ご不明な点等は、須崎税務署にお気軽にお尋ねください。
☎0889-4212355 (代)

放送大学 入学生募集のお知らせ

放送大学は、2018年10月入学生を募集しています。

10代から90代の幅広い世代、約9万人の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で学んでいます。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学高知学習センター（☎088-843-4864）までご請求下さい。

出願期間は、第1回が8月31日まで、第2回が9月20日まで。

「公証制度」 ご存知ですか？

10月1日（月）から10月7日（日）は、「公証週間」です。

「公証制度」とは、皆さんが不動産の売買・金銭の貸し借りなどの重要な契約を交わしたり、遺言をされたりする際、法務大

無料公証相談のお知らせ

「公証週間」中は、土曜日でも無料相談を行います

高知会場

日時 10月6日（土）
午前10時から午後0時まで、及び午後1時から午後4時まで

場所 高知合同公証役場（電話相談もできます）
高知市本町1丁目1番3号 朝日生命高知本町ビル3階（中央公園西、堀詰電停北）

駐車場 トーエイパーキング（堀詰電停南「セブンイレブン」の2軒南）

電話 ☎088-823-8601 ☎088-824-8427
☎088-872-4764

四万十会場

日時 10月6日（土）及び10月7日（日）
午前10時から午後0時まで、及び午後1時から午後4時まで

場所 中村公証役場（事前予約制です。電話による相談はできません）
四万十市中村大橋通6丁目3番7号 第1とらやビル4階

電話 ☎0880-34-1728
0880-34-9766（FAX専用）

臣の任命する「公証人」に依頼して、法的に特別の証拠力が認められている文書（公正証書）を作成することにより、後日のトラブル防止と、取引や財産の安全の確保を図る制度です。

9月の行事予定

- 1日(土) 第61回金婚夫婦祝式典
- 2日(日) 土佐牛まるかじり大会
- 3日(月) シェイクアウト訓練(地震防災訓練)
 梶原学園2学期始業式
 梶原高校2学期始業式
- 8日(土) 環境整備デイ
 梶原高校体育祭
- 9日(日) 各区敬老の日行事
- 11日(火) 小児健診
- 16日(日) 梶原学園運動会
- 19日(水) 行政相談
- 20日(木) 梶原町交通安全の日
- 21日(金) 秋の交通安全運動
- 22日(土) ゆすはらグルメまつり
- 23日(日) ゆすはらグルメまつり
- 29日(土) 梶原こども園運動会

9月の保健福祉支援センター行事予定

- 1日(土) 第61回金婚夫婦祝式典
- 5日(水) 松原サテライトデイサービス
- 6日(木) 四万川宅老所
- 9日(日) 各区敬老の日行事
- 10日(月) 認知症カフェ
- 11日(火) 小児健診
- 13日(木) 越知面デイ友の会
- 19日(水) あゆみの会
- 20日(木) 四万川宅老所
- 21日(金) 大向宅老所
- 30日(日) 四万川いきいき

毎週月曜日 育児サークル(図書館内子育てコーナー)午前10時～12時
※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お母さんだけでもOK。ぜひ参加してください。お待ちしております。

毎週水曜日 予防接種(四種混合、麻疹・風疹【MR】、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)

毎週金曜日 図書館「子育て相談室」にて妊娠～子育てに関する相談に保健師・助産師が在中し対応します。
時間は午前10時～12時(図書館休館日は休み)。気軽に利用して下さい。

月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)
※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。(皿でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

ゆすっこ相談センター相談日 4日(火)午後、18日(火)午後、25日(火)終日

川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日) 25日(火)、26日(水)終日、27日(木)午前中
※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター☎65-1170までお願いします。

お詫びと訂正
 7月号で掲載誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。
 16ページ文芸欄中、学校応援団 俳句教室一年「西村倫太郎」さんではなく、正しくは「西村倫汰朗」さんでした。訂正してお詫び申し上げます。

●おめでた

住所	氏名	性別	出生年月日	保護者
大蔵谷	那須 佑大 <small>ゆうだい</small>	男	H30. 7.17	那須 一大

●おくやみ

住所	死亡者名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
田野々	林 光子	女	H30.7.8	64	本 人
坂本川	永橋 春見	女	H30.7.14	95	永橋信弘
広 野	河岸 忠男	男	H30.7.17	83	本 人
松 谷	中岡 磯吉	男	H30.7.30	101	本 人

●ご結婚

届出時の住所	夫婦氏名	婚姻日
飯 母	夫 上川 竜汰 妻 中浦 瑞稀	H30.7.7
大蔵谷	夫 笛木 保志 妻 前口 陽香	H30.7.14
川西路南町	夫 上田 勇介 妻 中越 美結	H30.7.18

※出生・死亡・婚姻については個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています。

編集後記

同窓会のため帰省していた友達から、「梶原の町もきれいになって随分と変わったね。それに図書館と福祉施設にはびっくりしたよ。」と話していただきました。私たちが学んでいた頃の思い出と言えば、大きな銀杏の木と二宮金次郎の像が残っているだけです。驚くのも無理はありません。

私たちが学生の頃は本の数も少なく、ましてや図書室に通って読書にそしんでいた記憶もあまりありません。その反動か今ではこの図書館を大いに利用し、豊かな時間を過ごさせてもらっています。

外の芝生の上では小さな子どもが走り回り、中に入ると心地よい音楽が流れ、ゆったりとした時間を過ごすことができます。夏休み中も子どもたちの来館は多いそうです。うれしいことです。

西宮での体験や海外での学習など梶原町は子どもたちのために多くの体験学習支援も行っています。体験したことをもとにぜひこの貴重な施設も大いに利用し、将来に向けて活用してほしいものです。

図書館の隣には複合福祉施設もあり、お年寄りの方たちが体操をしたり、楽しそうにお話をしている姿をよく見かけます。お盆には多くの方が梶原に帰省し、図書館や施設を訪れる機会も多かったことと思います。

梶原に宝物が一つ増えました。またの帰省を楽しみにしています。

(広報編集委員会)

文芸

烏帽子俳句会

皺の手に結ぶ短冊星祭
宇都宮由利子

幸せはさりげなくあり茄子の花
中越 律子

喉ならしラムネ飲む男^{ひと}首太し
瀬戸口登貴恵

地も花も人も疲弊す雨しとど
西村 智子

荒風や穂綿網戸に撒き散らす
温地 あゆみ

落ちるだけ落ちて嵩あり凌霄花
岩元 美美

溪谷の虹見下しつ島を去る
古野 節子

一本のラムネを飲んだ青春譜
石丸 吉一

分け飲みし頃のラムネの旨さかな
ヒネ・パンビ

甘くなる無花果苦くなる怒り
千光寺 昭子

産声に夏の気いっばい吸いにけり
宮崎 真由子

夕虹や峡の家並つつましき
岩井 童子

杉の子俳句会

口元へしわを集めて梅試食
大崎みなと

半夏生廻り舞台の立稽古
内野 純子

白南風や庭のみ残る屋敷跡
氏原 陽子

天災は人智を超えし夏の川
影浦 鉄心

後手に畦道急ぐ敗戦日
掛橋 初子

手作りの白きドリソク夏座敷
川田 早苗

峡深しダム湖に浮かぶ蚩舟
下元 廣幸

合鴨がさざ波起こす青田かな
西村 幸枝

風鈴の音色やさしき雨上り
西村 蓉子

花^{うら}独活に邪魔と一言言いすぎる
野中 胤雄

町ひとつ呑んで出水の怖ろしや
久岡 智子

夕暮れに松明の列虫送り
明神伊佐子

柚子の木俳句会

癌いゆる聖路加のクルスうるみたる
広瀬 みえ

あの酷暑うそのようなる雨後の朝
西村由利子

川柳

呉竹のえぐみ気になる二十代
西森 誠子

夕立や取り入れ急ぐ下駄の音
中平 忠雄

汗だくで土砂と格闘ボランティア
中越 緑

一つして二つ忘れるサングラス
中越 郁子

涼風や溶けゆく舌の和三盆
渡辺 瑞枝

選果場笑いさそいし友がいる
中越 秋子

被災地にライフラインを虹の橋
吉田 敬子

半夏生二十七時のキックオフ
広瀬 卓雄

学校応援団 俳句教室

おれんじのメロンばあばのおみまいだ
一年 西村倫汰朗

むしをたべるかえるがべろをのぼしたよ
一年 松浦 隆広

かみねん土できんぎよを作る赤い色
二年 大谷 成穂

弟は指をすつてるおいしそう
三年 松浦 智広

じいじがねノゴギリクワガタつかまえた
三年 西村 日汰

先生がシューズでムカデたたいたよ
三年 福島 夢瑠

狂歌

川柳
ミソも溶け筆はひからび四十度
ゆす原人々

脱藩や龍馬冠すはせんなきも
維新の評価変わりつつあり

横綱を廃して行司美女にせば
力士ガチンコ 満員御礼
河野 哲夫

寄付のお礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

広報へのご寄付

岩本 廣統様 (高知市)
竹倉 松恵様 (高知市)
竹村 正大様 (柏市)

ふるさとづくり寄付金

大沢 一彦様 (今治市)
大沢 哲也様 (今治市)
高橋 恒夫様 (昭島市)

その他のご寄付

三本 藤代様 (横浜市)
社会福祉社に対する寄付金
永橋 信弘様 (坂本川)
故・永橋春見氏逝去に伴う
香典返しとして社会福祉へ